

谷川岳BCスキーヤー・スノーボーダー等をお願い

谷川連峰の山々は豊富な積雪と良質の雪等に恵まれ、良好なバックカントリーエリアとして各メディアで紹介され、多くの方々に親しまれています。

しかしながら、山スキーヤー・山スノーボーダー等の増加にともない『山岳遭難事故の増加』さらには『マナー・モラル』等について問われているところであります。

山スキー等の行為は、安全管理されたスキー場でのゲレンデスキーと異なり、自らの意思で山岳地に立ち入ることから、『登山』と同様にすべての行動に責任を持ち、発生した事故等については『自己責任』をもって望むべきであり、またルール・マナーを守れないスキーヤー等は立ち入るべきではありません。

谷川岳周辺のバックカントリーエリアを滑る場合、峠リフトを利用しアクセスするのが一般的ですが、スキーやスノーボードをはいたままバックカントリーエリアに滑走していくと、スキー場管理者からはコース外滑走と受け止められ、さらに一般スキーヤー等ののコース外滑走を誘発することとなります。

したがって、バックカントリーエリアに進出する方は、一般スキーヤー・スノーボーダーと区別するため、バックカントリーエリアに出るときには必ず所定のゲートからスキー・ボードを脱ぎ、歩くこととし、滑走ラインをつなげないよう心掛けてください。

また、スキー場コース内に戻る場合も同様に、必ずスキー・スノーボードを脱いで歩いて入ってください。

規制ロープを超えることは厳禁です。

またスキー場営業終了後、圧雪車によりコース整備が行われますが、業務の妨げにならないようスキー場パトロールによる最終見回り(午後4時30分)までに下山できるよう心掛けてください。

さらに自らの不注意により山岳遭難事故を発生させたにもかかわらずスキー場パトロールに救助要請をするケースがありますが、スキー場パトロールには救助義務はありません。

先に述べたようにバックカントリーについてはあくまでも『自己責任』によるセルフレスキューが原則であり、万が一、山岳遭難事故が発生しセルフレスキューでは対応できない場合、山岳警備隊や民間の救助隊による組織レスキューに移行されます。

皆さんはBCの『楽しさと危険性』をよく理解し活動していると思います。今後も皆さんがBCライディングを満喫するために各パーティーまたは各スキーヤー等と声を掛け合い情報交換をし、事故防止を図って下さい。

登山届提出先・山岳遭難事故発生時の連絡先として参考にしてください。

(県警HP参照)

管轄警察署

群馬県沼田警察署

0278 - 22 - 0110

谷川岳警備隊(水上交番) 0278 - 72 - 2049

皆さんの良きBCライディングと無事下山を祈っています。

天神ローカル

谷川岳の山スキー・ボーダーへ

次のことを守って安全登山を心がけて下さい。

- スキー場が定めた立入禁止区域に入ることは禁止です。
- スキー場は、スキー場管理区域外で発生した事故等の責任は負いかねます。発生した事故等については『自己責任』をもって対応してください。
- 必ず所定の登山届けを提出してください。
- 峠リフトを経由して天神尾根方面のバックカントリーエリアに出る場合や、西黒沢から田尻沢滑走コースに戻る場合等、一般スキーヤー・ボーダーと区別するために、必ず登山口から歩いて出入りしてください。
- 天候・積雪の安定など、コンディションを考慮し安全を最優先してください。
- 装備品等は必ず携行し、万事に備えてください。
- 地理・地形などを良く把握し、遭難防止に努めてください。
- 他のスキーヤー・スノーボーダー等とコミュニケーションや情報交換を図り、相互に情報を共有してください。
- 自分の滑走技術を過信することなく、常に慎重な行動を心がけてください。
- 万が一、事故等が発生した場合、冷静に行動し他の同行者の安全を確認して下さい。セルフレスキュー等ができない場合、早期に救助を要請して下さい。

山岳遭難事故発生時の連絡先として参考にしてください

(県警HP参照)

群馬県沼田警察署

0278 (22) 0110

谷川岳警備隊(水上交番)

0278 (72) 2049

皆さんの良きBCライディングと無事下山を祈っております。